Tホー 0228-01
10. 01

取付業者の皆様へ
取付後、本書は必ず**御施主様または御入居者様へお渡し下さい。**

LSミニケース錠・8STチューブラ錠・ケースロック　仕様

# 丸座・ND座・DR座 レバーハンドル錠　取付説明書

**⚠ 取付上の注意**

**電動ドライバーは使用しないで下さい。**

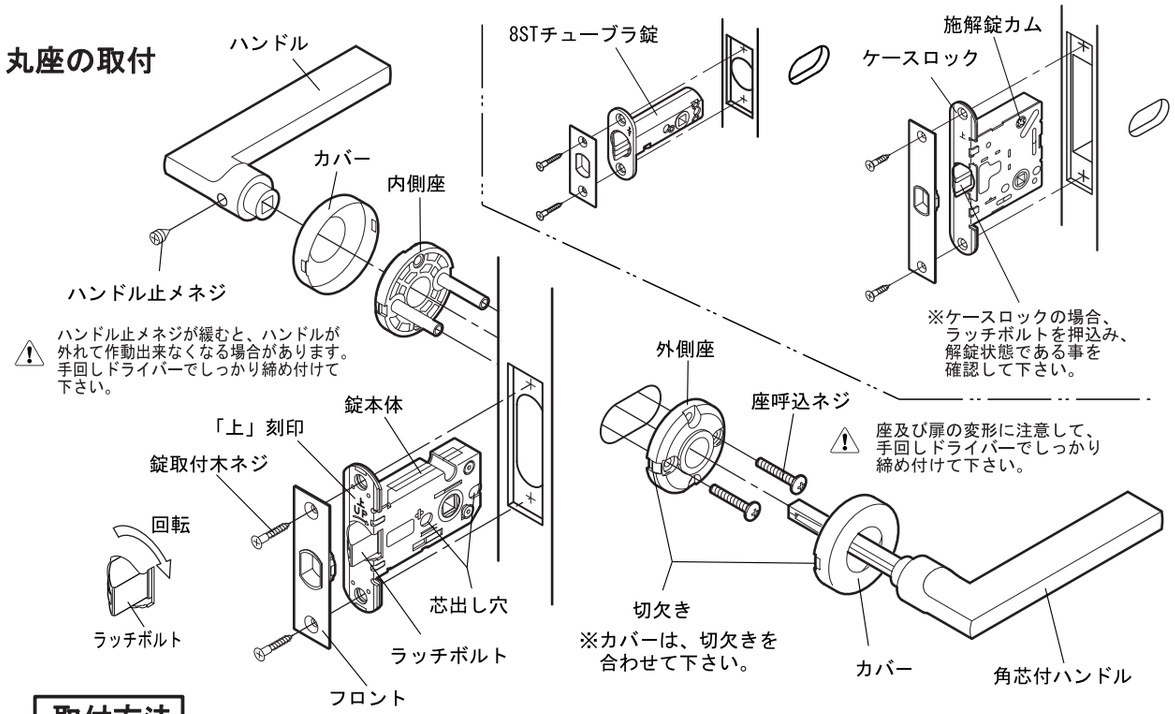
・ネジの締め過ぎによりハンドルに傷を付ける、ネジをこわす、座の変形、扉のヘコミによる作動不良などを起します。
・ネジの締め付け不足により、ハンドルや座がガタガタし、いづれ外れてしまい、重大な事故へつながります。

**責任施工を行い、トラブルの無い様ご注意下さい。**

**一般住宅屋内専用**
（浴室・商業施設等での使用不可）
※本製品は、**一般住宅屋内専用です。玄関や屋外では使用しないで下さい。**

**使用可能扉厚　28～40mm**

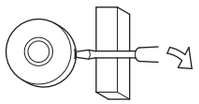
## 丸座の取付




## 取付方法

1．取付型紙を利用して、扉に彫込みをして下さい。
2．錠本体を「上」刻印の向きに合わせて、扉に差込んで下さい。
　ケースロックの場合は、ラッチボルトを押込んで解錠状態である事を確認してから差込んで下さい。ラッチボルトが押込めない場合は、施解錠カムの十字穴をドライバー等で回転させて解錠状態にして下さい。
3．ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから、錠本体にフロントを当てがい、錠取付木ネジで固定して下さい。
4．内側座を錠本体の芯出し穴に差込み、外側座と座呼込ネジで仮止めして下さい。
5．両側のハンドルを差込み、動きの良いところで座呼込ネジを締付けて下さい。
6．ハンドルを一旦抜いてから、座カバーを切欠きを横にして合わせてはめ込んで下さい。
7．５と同様にハンドルを差込み、ハンドル止メネジでしっかり固定して下さい。
8．ストライクは、裏面を参考にしてラッチボルトの位置に合わせて取付けて下さい。

**カバーの外し方**



マイナスドライバーをカバー横部の凹部に当て木を添えてから差し込み、カバーを外してください。

## 取扱上の注意

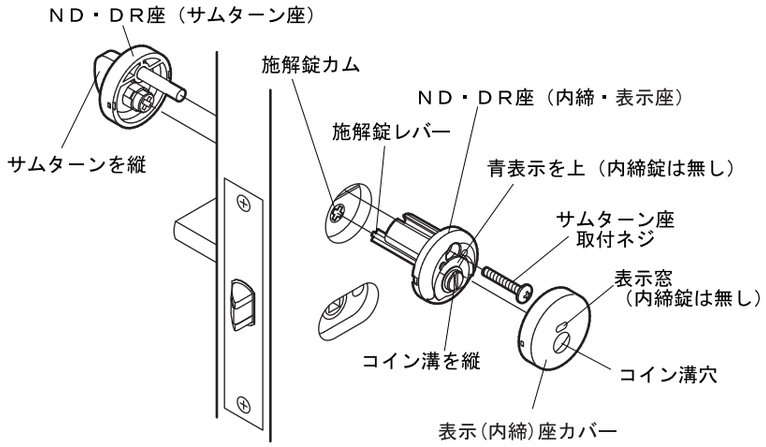
1．ネジがゆるんだ状態で使用していますと、錠に負担がかかり扉が開かなくなる重大な事故になる場合があります。
　年に１度以上はネジのゆるみ等の確認を行い、ゆるんだネジは締め直しをお願いします。
2．レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。

## 表面のお手入れについて

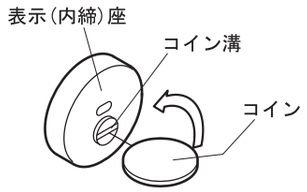
1．表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
2．汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
3．特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

## ケースロック仕様　ND座・DR座の取付

### 内締・表示錠の場合




**非常解錠方法**




表示（内締）座のコイン溝にコインを差込み、扉の戸先方向に回転させます。

1．コイン溝を縦（表示座の表示の青を上）にして、施解錠レバーを錠本体の施解錠カムの十字穴に通します。
　内側のサムターンも縦にして表示(内締)座とサムターン座を組合わせます。
2．サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、動きの良い所でサムターン座取付ネジを締付けて下さい。
3．表示(内締)座カバーを、コイン溝の位置を合わせてはめ込んで下さい。

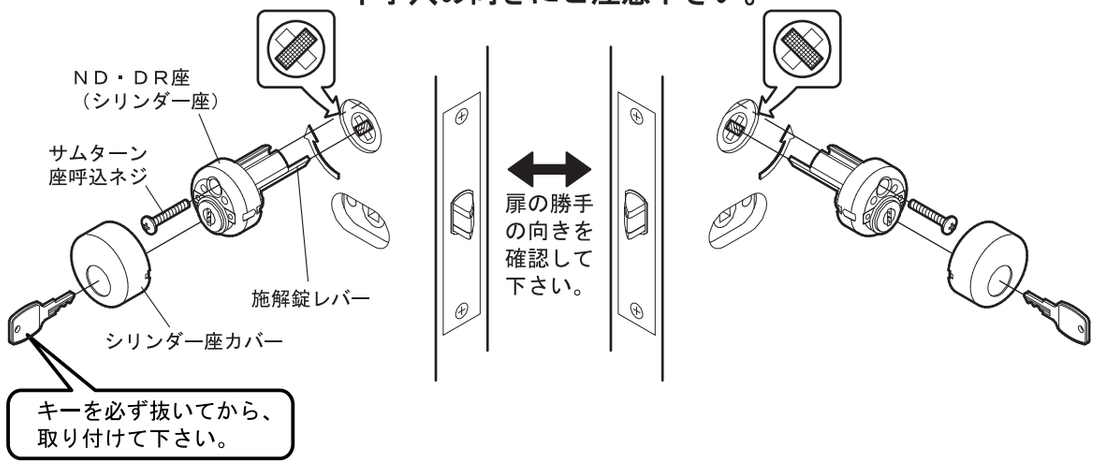
**⚠注意　シリンダー錠は、商業施設等の多頻度使用には適さない仕様ですので、それらの場所には別の物をご利用下さい。キーやシリンダーの磨耗で、正しく施解錠出来なくなることがあります。**

### シリンダー錠の場合

1．キーをシリンダー本体から必ず抜いて下さい。
　キーを差し込んだままでは正しく取り付けることが出来ない場合があるので、ご注意下さい。
2．扉の左右勝手に合わせて、施解錠レバーを矢印の方向に傾け、錠本体の施解錠カムの十字穴の黒塗側に通します。
3．以降の取付方法は内締錠・表示錠の場合と同じです。

**⚠注意　施解錠レバーの挿入する向きを逆にすると、正常動作できなくなりますので、ご注意下さい。**

**十字穴の向きにご注意下さい。**



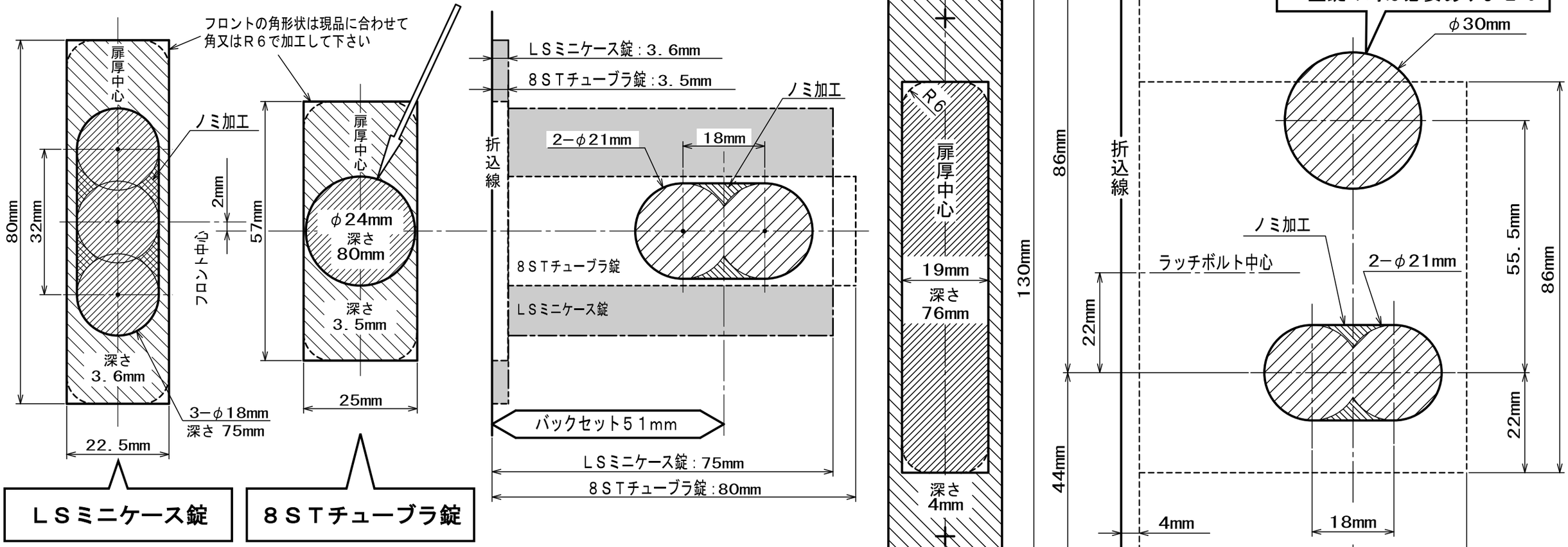

**⚠ 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認して下さい。**

# 取付型紙

**⚠注意**

- 扉表面の穴を先に横手面からの穴を後に加工して下さい。
- チューブラ錠の場合、錠本体が入る穴の加工が大きすぎると使用時、錠本体に負担がかかりやすくなり重大な故障の原因になりますので、必ず指定寸法（φ24mm）で加工して下さい。
- 錠本体の入る丸穴やフロントは、真っ直ぐに加工して下さい。

## 使用可能扉厚　２８～４０mm




ＬＳミニケース錠

８ＳＴチューブラ錠

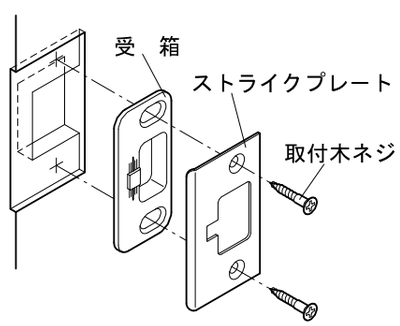
ケースロック

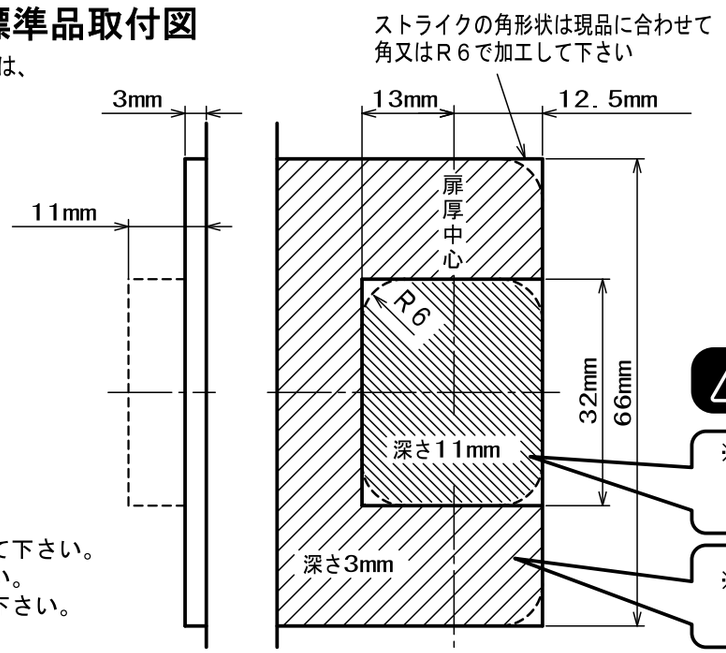
**⚠注意**

ケースロックの厚みに合わせて１９mmで彫込んで下さい。
彫込みが広すぎると、ケースロックとドアの隙間が大きくなるため、座の取付けるネジを強く締込むとドアがへこむ恐れがあり、カバーの掛りが悪くなる場合がありますのでご注意ください。

## 調整ストライク（Ｓ２５）標準品取付図

オプション品をご使用になる場合は、
専用の切欠きを行なって下さい。



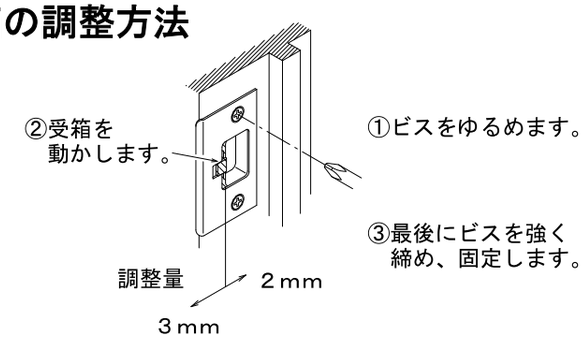




**⚠注意**

※受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。
小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。

※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意下さい。

### 取付方法

1．取付型紙を参考にして、枠に彫込みをして下さい。
2．上図のように取り付け、仮止めして下さい。
3．受箱をラッチボルトに合わせて動かして下さい。
4．取付木ネジで固定して下さい。

## 受箱の調整方法